

桃太郎かるたについて

廣島縣三原女子
師範學校保母

米 山 エ ン

私がこの桃太郎かるたを作りましたことについ

て少しもうし上げたいと存じます。私は前から幼稚園に於ける幼児の生活と保母の生活との上にあきたらなさを感じて居ます。それは動々もすると無抵抗な無氣力なものとなるのを見もし又私自身も味ひました。それは最も幼稚園生活に馴れ過ぎた幼児と初めて幼稚園教育にはいつて來た保母との間に起る一つの現象を感じました。どうかしてもつと意義ある抵抗あるものとしたかと思つて居ます。矢先私は或子供によつて或ものを發見しました、否その機會に遭遇したのであります。それは高年部の幼児三名が砂の上に木片の先きで怪しげな型のものを描いて頻りに云ひ争ひをして居ます。そこへ私が顔を出しますと、よい裁判官が來たといふ様な顔をして私に次の様な質問を始めました

先生「キ」と云ふ字は木原のキですなね。

先生「コ」と云ふ字はこつちですなね、それはコとコとの二字に對しての質問でした。その外種々の片假名に對して質問しました。その眞劍さには驚かされました、それより以後はかゝる機會に遇ふ事が非常に多く第二保育期の中頃より第三保育期にかけて著しくなつてまいりました、その原因は他にあることゝ存じますが文字慾の盛んに躍動致しますのはやはりこの頃かと云ふ事も知られます、他にある原因と申しますのは、最早義務教育に入らんとする時で御座いますから環境上やら又は自覺等から起つて來るものと存じます、そしてこの機會は大變によいと存じます、この將に芽生せんとする精力を壓しつけるは發達を害ふ大原因と存じます、そしてその結果無抵抗な無氣力な生

活にしてしまふものと確信しますかく申しましたも私は決して文字を教授するものでは御座いません。又教授すべき性質のものでは御座いません。が然しそれかと云つてその精力を其の慾求を強壓することは勿論出来ませぬ。その萌芽に對して害なき教育をさせる責任を私共はもつて居ます、ここに私共の生活、ほんとに意義ある生活が生れて來ます、そこで私は次の様なものを考へました。

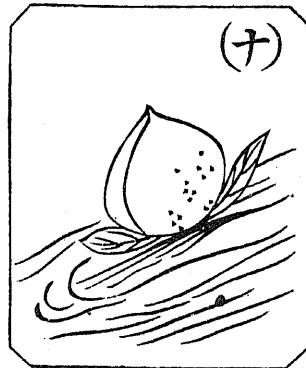
幼児が知らんと欲するものが幼児を毒せざる限りは知らしめやう。つまり遊戯の間にしらすしらず自己の知らんと欲する文字に出會することは愉快なことであらうと思ひまして五十音字よりなるかるたを考案いたしました。

挑太郎の童話を中心としまして五十音の各音字により文字的(幼兒文學的)に仕組みまして、取り札と讀札との二とし、讀札は片假名で讀み安い様に書き、取り札は木質としてその句の意味により幼兒的の彩色繪を描きその頭に五十音字の一字を

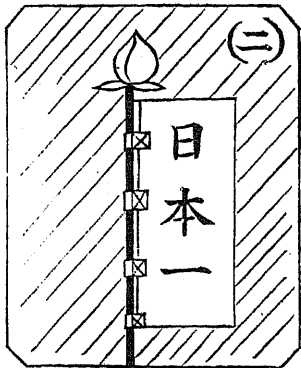
かき表はしました。

例、ナ行、

句、ながれにうかぶ大きな桃の實



句、日本一のはたため、



かくして製作しましたか、るたを幼児に與へました處非常な歡迎で朝からかるた、かるたと騒ぎ廻りまして正に二時間集注的遊びを致しまするして最もこの遊びの高潮に達しますのは十二月から三月頃で御座いました、三月に入りましては讀札の方を讀む幼児が三名出來まして保姆に差支が御座いますときはおぼつかながら幼児同志で源平の仕合をやつて居ます。

その眞劍の遊びには我々共もしらずしらず引きこまれてお晝の仕合をすることを忘れて居る事が度々で御座いました。

遊び方は色々御座いますが一等面白いのは源平仕合の様で御座います、取りあつてあととはどつと笑ひに紛ぎれて勝敗けのいがみ合とか競争のみにくさは一寸も御座いませぬ、どんよりとした重さうな悲しさうな雨の日などに時ならぬ陽氣な笑ひ聲を聞きますことは私を心から満足させます。

この遊具を與へましてからの幼児の變化を申し

ますと。

幼年雜誌に對する見方が一變してまいりました、その共鳴點が繪のみでなく繪と片假名からなつて居る處の様に存せられます。

幼児の姓名を讀むこと、これは片假名で書いてありますと草履でもお辨當袋でも、箸箱でも、想像をませながらよんで居ます、お辨當の當番などにはちやんと御膳立が出來ます。

凡て物に對しての注意力が加へられた様に存じます時に文字に對しては注意が深くなつた様な感を持ちます。

又次には個性觀察の材料ともなるべきものもこれによつて得られます。

加様にして遊びました結果を調査致しましたから次表の様なものを得ました。

一、片假名文字による調査

一、調査人員男兒十八名、女兒十四名

一、調査表

表情遊戯について

土川五郎

エテル、ウルリン氏の「大古と近代の舞踊」の序論に次の如きことが記されて居る。

『吾人が文明の歴史を原始時代に遡りて攻究すると其結果舞踊は人間の最初の本能の外部的に體現せられたもので又同時に最初の藝術である事が證明せらるゝ、怡も赤兒が自己の感情を啼泣と身振とに依りて知らしむる如く歴史以前の人類は彼等を動かした種々の熱情を外的に發表しやうと力めて此等の表情の原始的様式を創めたのである、此の故に舞踊は其第一解剖に於て劇的の形式に依つて思想を發表せしむる身體上の動作から成り立つ、併し其最初の階段として猶他に一層重要な要素がある即ち節律的と云ふ事である。

あらゆる自然は節律を表現して居る即ち波浪、潮の干満も、光線音響の振動も又天體の調和的運

性別	讀力の全 能なる者	記述力の全 能なるもの	十音字以上 の讀力あるもの	十音字以上 の記述力ある者
男兒	二人	一人	十人	十二人
女兒	七人	一人	四人	十人
合計	九人	二人	十四人	二十二

但し、文字に對しての欲求皆無のもの男兒に一名、女兒に二名あり。

過般、伽噺の大家久留島武彦先生が我が三原町に御越しになりました節親しく御目にかかりましてこの、か、る、た、に、つき御批評を仰ぎました處、先生も御賛成下さいまして、中に十句程改作する様御指導下さいました。そして先生がその改作に御筆を御取り下さる様御承知下さいました、田舎に居ります私には實にうれしくて早魘の夕立その様感ぜられました。